◀この一般質問の映像はこちらから

高齢者、障がい者福祉について

高橋　輝

質問 公共施設のバリアフリー化は

町 順次整備を進めていく

問 多目的トイレ導入の促進の考えは。

答 個別施設計画策定の際に改修可能な施設は計画に盛り込んでいく。

問 学校トイレの洋式化の考えは。

答 順次進めていく予定はある。学校統廃合に伴い100％洋式化出来ている学校もあるが、古い校舎は遅れている。

図書館の狭いトイレ入口

問 公共交通手段のバリアフリー化の考えは。

答 町民バス、デマンド交通等バリアフリー化は進んでいないが、町民バスは平成31年度に低床型に切り替える。今後も必要なバリアフリー化は考えていく。

問 民間施設のバリアフリー化や多目的トイレ設置の助成に関する考えは。

答 現在、助成はないが今後、ガイドライン作成も含め、調査・研究していく。

太陽光発電施設について

質問 メガソーラーと自然環境保全は

町 法令内で折合をつけていく

問 メガソーラー設置と自然環境の保全をどう考えているか。

答 法令で許される範囲内で自然環境との折合をつけていく。

問 大田原市では太陽光発電施設の台帳データの整備を決めた。同様のことを町でも行う考えは。

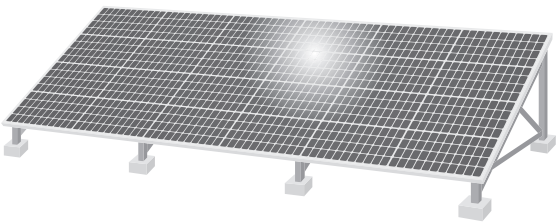
答 大規模なものは県と連携しパトロールを行っている。大田原市同様に、小規模なものに関しても情報を収集し、出来る方法を考える。

問 メガソーラー造成工事による放射能汚染を拡大させないための指導方針は。

答 天地返し等、造成工事は丁寧にするように、また、粉塵等周囲への影響を最小限にするよう指導を考えている。

問 那須水害のような想定外の天災に関する指導方針は。

答 都市計画法、森林法で定められた雨量強度基準で指導してきたが、那須水害レベルの降雨を基準とした指導は行っていない。



※このほかに「歳出削減について」の質問もしています。